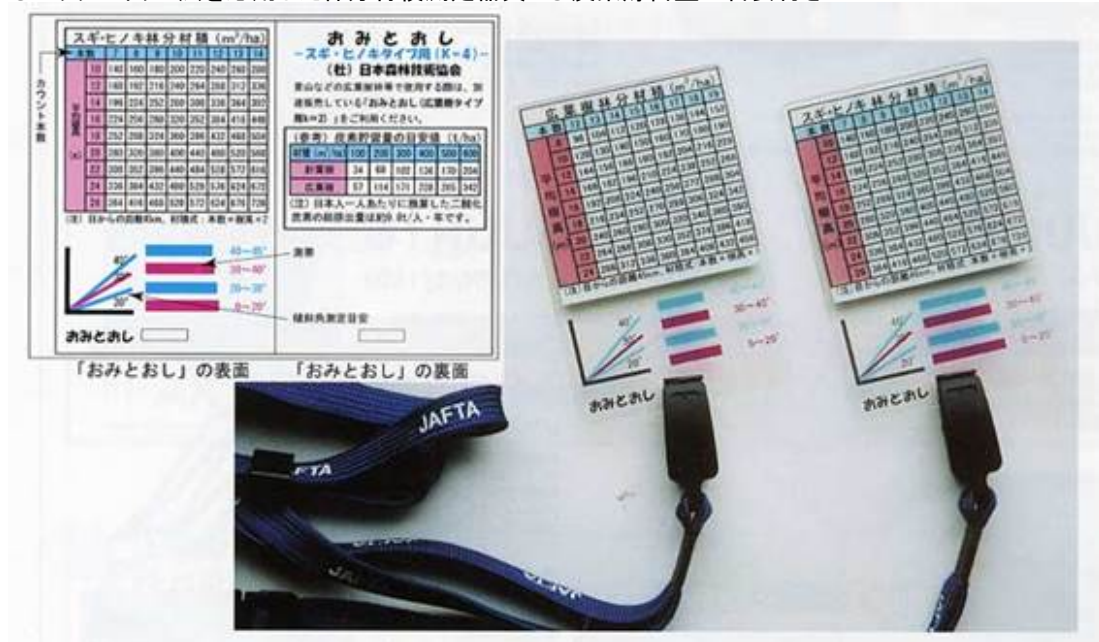


森林を測り続けて90年、
一般社団法人 日本森林技術協会が自信を持ってお勧めする
子どもたちとも測ろうー森林環境教育への取り組みにも最適なグッズ

おみとおし

(スギ・ヒノキタイプ用／広葉樹タイプ用)

●ピッター・リッヒ法を応用した林分材積測定器具 ●炭素貯留量の目安付き



- 「おみとおし」は、立木の胸高部分(高さ1.2m)を透かし見ながら測定できます。
- 林分の傾斜角に応じた測定が容易にできるよう、「傾斜角測定目安」が示されています。
- 「おみとおし」と目からの距離は、45cmに保ってご使用ください。
- 「首ぶらさげひも」は、首から外して伸ばしたときの長さが45cmになるよう設計されているので、併せてご利用いただくと測定が容易になります。
- このひもには、木の枝等に引っ掛かったときでも、容易にひもが外れる安全装置と、長さ調節のためのクリップが付いているので、子どもたちの使用にも適しています。

もう少し詳しい説明は次頁を



コンパクトで使いやすいカードタイプの設計のため、いつでもどこでも、だれでも簡単に使用できます。

- 定価:スギ・ヒノキタイプ用 (本体500円)
- 広葉樹タイプ用 (本体500円)
- 首ぶらさげ紐 (本体300円)
- 送料 実費

○ご注文は、一般社団法人 日本森林技術協会 管理・普及部 販売担当 電話 03-3261-5414 FAX 03-3261-5393

[戻る](#) | [Home](#) |

「おみとおし」（林分材積簡易測定板）

「おみとおし」って何？

●「おみとおし」とは、ビッターリッヒ法とほぼ同様な方法による、森林の林分材積を測定する器具です。コンパクトで使いやすいカード型の設計のため、いつでも、どこでも、だれでも簡単に使用することができます。またカードの裏面には、おおまかな炭素貯留量を求めることができる換算表が示されていて、子どもたちの環境学習や各種の環境イベントなどにご利用いただけます。

●この「おみとおし」の原型は、林野庁東北森林管理局岩手北部森林管理署の河野裕之署長と管理署職員が開発した「安代式スケール」です。このスケールは、傾斜角補正が容易で、その誤差率は16%以下の優れものです。このスケールをほんの少し改造し、より安価でコンパクトなクズ仕様に仕立てたのが「おみとおし」です。ちなみに名付け親は、当協会の根橋達三理事長(当時)です。

●「おみとおし」には、スギ・ヒノキ等の針葉樹人工林でご使用いただく「スギ・ヒノキタイプ用」と、里山等の広葉樹二次林でご使用いただく「広葉樹タイプ用」の2種類ありますのでセットでご利用ください。この「スギ・ヒノキタイプ用」と「広葉樹タイプ用」との相違は、ビッターリッヒ理論という断面積定数Kの相違にありますが、この説明等につきましては、マニュアルおよび森林計測などの書籍をご参照ください。

スギ・ヒノキ林分材積 (m³/ha)

本数	7	8	9	10	11	12	13	14
10	140	160	180	200	220	240	260	280
12	168	192	216	240	264	288	312	336
14	196	224	252	280	308	336	364	392
16	224	256	288	320	352	384	416	448
18	252	288	324	360	396	432	468	504
20	280	320	360	400	440	480	520	560
22	308	352	396	440	484	528	572	616
24	336	384	432	480	528	576	624	672
26	364	416	468	520	572	624	676	728

(注) 目からの距離45cm、材積式：本数×樹高×2

おみとおし
—スギ・ヒノキタイプ用 (K=4)—
(社) 日本森林技術協会

里山などの広葉樹林等で使用する際は、別途販売している「おみとおし(広葉樹タイプ用k=2)」をご利用ください。

(参考) 炭素貯留量の目安値 (t/ha)

材積 (m ³ /ha)	100	200	300	400	500	600
針葉樹	34	68	102	136	170	204
広葉樹	57	114	171	228	285	342

(注) 日本人一人あたりに換算した二酸化炭素の総排出量は約9.8t/人・年です。

傾斜角測定目安



「おみとおし」の使用写真

「おみとおし」の表面

「おみとおし」の裏面

(注)「おみとおし」のご使用方法については、マニュアルをご参照ください

●「おみとおし」の「測帯」は、立木の胸高部分を透かし見ながら「カウント本数」を測定できるように作られており、また、林分の傾斜角に応じた「測帯」を容易に選定できるように、「傾斜角測定目安」が示されています。

この「測帯」は、目からの距離が45cm専用ですので、この距離を厳守してご使用ください。付属している「首ぶらさげ紐」は、首から外したときの紐の長さが45cmに設定されておりますので、これをご利用いただくと測定が容易になります。なおこの紐には、木の枝等に引っ掛かったときでも、察易に首から紐が外れる安全装置と、長さ調整のためのクリップが付いていますので、子どもたちの使用にも適しています。

●「おみとおし」の製作にあたっては、岩手北部森林管理署河野裕之署長ならびに管理署職員の皆様の多大なご協力をいただきました。また、独立行政法人森林総合研究所の家原敏郎資源解析研究室長に、理論や精度検証等の技術指導をいただきました。

※許可のない複製および複製品の使用は、法律で禁じられています。